

◎「コールセンター」設置における助成は

問 「コールセンター」設置の助成制度として、用地費・賃貸料・初期投資等に対する補助金を設ける考えは。

答 急速に進むと考えられる産業構造の転換等を見据え、雇用状況や立地状況も調べた上で考えていきたい。

◎原野谷川左岸堤防の維持管理費は

問 原野谷川左岸堤防（和口橋から諸井橋）道路部分の草刈りと舗装をした場合、概算経費の比較はどうか。

答 道路幅4mで区間延長3.5kmを、年2回草刈りした場合、は約300万円かかる。未舗装部分の区間2.3kmを舗装した場合、は約4,700万円である。

◎鳥羽野排水路に彼岸花の植栽はどうか

問 鳥羽野排水路の景観事業「彼岸花の里作り構想」を考えるがどうか。

答 地域が美化運動の一環として、護岸に彼岸花の植栽をすることは、河川の景観向上とともに、管理上の効果が期待できる。河川管理に支障をきたさない範囲で実施していただければと考える。



景観事業が考えられる鳥羽野排水路

◎国道150号線バイパスの路線決定は

問 国道150号線バイパスの工事が、各所で進められているが、本市は路線決定も行われていない。このままでは本市は取り残されてしまう。事業の進捗率はどの程度か。

答 全体の進捗率は77%であり、また、既に整備が進められている磐田市を含めた中東遠の進捗率は、70%となっている。

問 県は、路線決定については市に投げかけてあるとのことだが、路線はだれがいつまでに決めるのか。

答 県の管理道路であるため、路線は県が決めるものである。なるべく早く決めるよう県に確認し、結論を出していきたい。

◎にぎわい新都心まちづくり事業の推進は

問 国本地区開発は、市の将来を左右する重要な施策である。タイムスケジュールを決めて、早期に着実に事業を推進すべきでは。

答 平成25年までにプロポーザルコンペを行い、5年後の平成30年には、事業を着手していきたい。



整備された国道150号線バイパス(磐田)